

福祉あがの

令和元年8月1日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会



コミュニケーションの目的は

お互いが理解し合うこと



共感できると
自然と笑顔



6月29日、研修会『言いたいことを伝えるために～うまくいく聴き方と伝え方』を水原公民館大会議室にて開催しました。

講師は、子育て支援ファシリテーターで、新潟初の子ども食堂「ふじみ子ども食堂」の代表者である立松有美氏。「コミュニケーションはキャッチボールのように投げる 受けるを繰り返すこと。一方的に投げて終わるのではありません。相手に合わせて“ボール＝言葉”を“投げる＝伝える”こと。勝ち負けではなく、お互いが理解し合うことが重要」とのお話がありました。また、2つのワークショップを体験しながら学ぶことで、多くの気づきがありました。

参加の皆さんは、自分のことも相手のことも大切にする聴き方と伝え方について明るく楽しく前向きに話し合うことができたようです。

会長就任のごあいさつ



社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会

会長 片桐 正夫

去る、6月26日に開催されました理事会において、阿賀野市社会福祉協議会の第六代会長を拝命いたしました。

就任にあたり、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

今、国においては「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。「地域に暮らすすべての人びとが、それぞれに役割を持ちながら、ともに支え合い、地域をともに創っていく社会」とされています。その実現に向け、阿賀野市社会福祉協議会におきましても、地域福祉を推進する中核的な民間福祉団体として、皆様方のお力添えを頂きながら、その使命を十分に発揮できますように、役職員一同引き続き努力を重ねて参りたいと存じます。

ここに皆様の更なるご理解とご協力、ご支援を賜われますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

阿賀野市社会福祉協議会役員のご紹介

(順不同/敬称略)

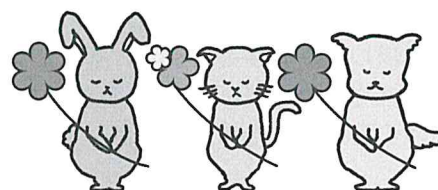
理事(9名)

No.	役職	氏名
1	会長	片桐 正夫
2	副会長	中村 彰男
3	理事	田代 健一
4	理事	圓山 知
5	理事	稲垣 弘子
6	理事	樋口 禎一
7	理事	荻 紋子
8	理事	八木 美代子
9	理事	湯 浅 優

監事(2名)

No.	役職	氏名
1	監事	中澤 正栄
2	監事	長谷部 教秀

役員任期：令和元年6月定時評議員会終結時から
令和3年度定時評議員会終結時



令和元(平成31)年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

今、新たな時代を前にして、国においては「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。地域共生社会とは、「地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割をもちながらともに支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」とされています。

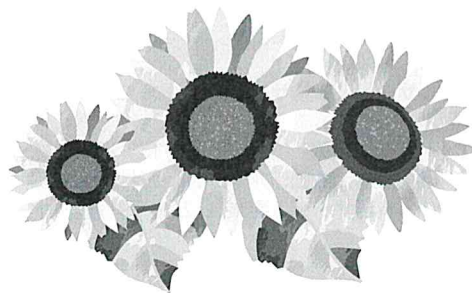
まさに、これまで取り組んできた「福祉のまちづくり」であり、その実現に向けて、これまでの実践を振り返りながら、取り巻く環境を適切に把握して今後の事業・活動に係る地域福祉活動計画を見直し、具体的な行動を実践として示していくことが重要となります。

また、介護サービス事業等においても、地域の中における事業所のポジション、強み、弱みを把握、経営課題を明らかにして、地域福祉と介護・障害サービス事業等を横断的に取り組んでいく必要があります。

これらを踏まえて、「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」の構築に向けて努めてまいります。

重点事項

1. 住民主体による参加型の地域福祉サービスのシステム構築
2. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援強化
3. ボランティア活動の活性化と人材育成
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
5. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター5か所
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)
6. 地域福祉活動計画の見直し



収支予算

科 目		予算(円)	科 目		予算(円)
収入	会費収入	4,113,000	支出	人件費支出	452,882,000
	寄付金収入	53,000		事業費支出	94,937,000
	経常経費補助金収入	75,262,000		事務費支出	43,487,000
	受託金収入	37,367,000		就労支援事業費支出	4,276,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	418,000		助成金支出	433,000
	介護保険事業収入	402,966,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	637,000
	就労支援事業収入	4,228,000		積立資産支出	6,000
	障害福祉サービス等事業収入	98,238,000		その他の活動による支出	19,891,000
	その他の事業収入	5,000		予備費支出	687,000
	受取利息配当金収入	16,000			
	その他の収入	226,000			
収入合計	623,392,000		支出合計	617,736,000	
			当期資金収支差額	5,656,000	

平成30年度 阿賀野市社会福祉協議会事業報告

<法人運営事業サービス区分>

- 会務の運営
理事会(4回)、評議員会(3回)、監事会(4回)、訪問監査(4回)、
正副会長会議(2回)、在宅福祉委員会(1回)の開催
- 福祉関係者の顕彰
阿賀野市社会福祉協議会会長表彰(19名、7団体)
- 役職員の研修
役員研修(1回、1名参加)、職員研修(19回、22名参加)
自主研修(5回、28名参加)
- 自主財源の造成
一般会員 9,006世帯(66.0%)
特別会員 13団体/22口・29法人/42口
賛助会員 123個人/123口
- 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
阿賀野市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を踏まえ
「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため所轄庁、関
係機関、団体の主催する各種委員会協議会等に出席するな
ど多職種との連携、連絡協議に努めた。
- 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害福祉協議
会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活
動支援
- くらしを守る住民活動の推進(虚礼廃止運動推進事業)
無料礼状ハガキの活用(活用者66名、活用枚数1,053枚)
- 啓発活動の強化
第68回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業(ホーム
ページ)の実施
- 共同募金活動の強化
実績額 9,049,145円(達成率93.3%)
- 高齢者福祉活動の推進
いきいきサロン事業の支援
- 災害救援活動の支援
阿賀野市防災研修会への参加、防災土養成講座への参加、
県防災会議交流会への参加、新発田青年会議所との災害時
相互協力協定の継続

<配食サービス事業サービス区分>

配食サービス事業
(利用者:129名、食数:4,611食 1回平均配食数:安田地区
34回 京ヶ瀬6回、水原34回、笹神地区18回)
おせち料理サービス事業(12/30 91食)

<生活福祉資金サービス区分>

福祉資金
福祉費
(前年度末11件、新規0件、償還完了1件、貸付中10件)
緊急小口資金
(前年度末2件、新規0件、償還完了0件、貸付中2件)
教育支援資金
(前年度末21件、新規0件、償還完了4件、貸付中17件)
離職者支援資金
(前年度末7件、新規0件、償還完了2件、貸付中5件)
長期生活支援資金
(前年度末0件、新規0件、償還完了0件、貸付中0件)
総合支援資金
生活支援費
(前年度末11件、新規0件、償還完了1件、貸付中10件)
一時生活再建費
(前年度末4件、新規0件、償還完了1件、貸付中3件)
生活福祉資金担当者研修会1名参加

<小口資金貸付事業サービス区分>

前年度末貸付件数17件、新規申込10件、償還完了17件、
貸付中9件、償還免除1件

<生活困窮者自立支援事業サービス区分>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など
(相談受付件数75件)

<福祉サービス利用支援事業区分>

日常生活自立支援事業の実施(利用者7名)

<ボランティアセンターサービス区分>

ボランティアセンターの開設
ボランティア活動の支援(登録ボランティア 個人463名、
81グループ1,107名)

<通所介護事業拠点区分>

デイサービスセンター「むすびの里」(延利用者 4,999名)
デイサービスセンター「第二むすびの里」(延利用者 9,338名)
デイサービスセンター「第二永寿園」(延利用者 7,943名)
デイサービスセンター「第二わかばの里」(延利用者 10,468名)
デイサービスセンター「おおむろの丘」(延利用者 5,864名)
※基準該当障害者福祉サービス生活介護
デイサービスセンター「むすびの里」(延利用者 14名)
デイサービスセンター「第二わかばの里」(延利用者 263名)

<居宅介護支援サービス区分>

阿賀野市社協ケアセンター「ぬくもり」(延利用者 1,688名)

<訪問介護サービス区分>

阿賀野市社協ヘルパーステーション「ぬくもり」(実利用者 598名)
※保険外サービス(利用者4名)

<障害者居宅介護サービス区分>

自立支援
身体障害者(実利用者92名)、知的障害者(実利用者49名)、
精神障害者(実利用者50名)、地域生活支援(実利用者45名)

<こどものことばとこころの相談室サービス区分>

通所支援(延利用者4,682名)
相談支援(計画相談258名、モニタリング176名)

<さくらの会作業所サービス区分>

就労継続支援B型事業の経営(延利用者4,207名)、利用者が
個々の能力を伸ばせるよう働く場の提供(自主製品販売活
動、研修会、畑作業など)

<地域活動支援事業サービス区分>

地域で暮らす障がいのある方が余暇活動を楽しむ憩いの場
「地域活動支援センターどれみハウス」を旧デイサービスセ
ンターわかばの里へ移し、広々とした空間でより利用しやす
くなりました。(延利用者1,051名)

<京和荘サービス区分>

老人福祉センター(延利用者3,295名)
生きがい創造センター(延利用者123名)
公民館(延利用者17,509名)

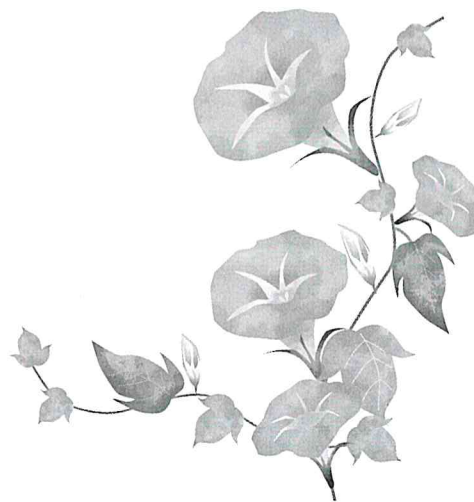
平成30年度 阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

平成31年3月31日 現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	211,370,920
事業未収金	79,189,214
原材料	256,560
立替金	967,610
前払金	934,029
仮払金	14,400
流動資産計	292,732,733
固定資産	
基本財産	
建物	249,602
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,249,602
その他の固定資産	
建物	9,192,780
構築物	1,010,457
車輛運搬具	6,371,447
器具及び備品	2,883,728
有形リース資産	635,040
ソフトウェア	116,640
長期貸付金	227,696
退職手当積立金預け金	254,692,722
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資産	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,055,114
預託金	72,900
その他の固定資産計	328,058,524
固定資産計	332,308,126
資産合計	625,040,859

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	17,990,245
1年以内返済リース債務	635,040
未払費用	16,747,368
預り金	433,783
職員預り金	8,673,229
流動負債計	44,479,665
固定負債	
退職給付引当金	306,080,930
固定負債計	306,080,930
負債合計	350,560,595
差引純資産	274,480,264



【貸借対照表】

平成31年3月31日 現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	292,732,733	281,451,772	11,280,961	411 流動負債	44,479,665	42,885,788	1,593,877
402 固定資産	332,308,126	328,582,412	3,725,714	412 固定負債	306,080,930	300,163,710	5,917,220
				負債の部合計	350,560,595	343,049,498	7,511,097
				純資産の部			
001 基本財産	4,249,602	4,374,398	△124,796	413 基本金	4,000,000	0	4,000,000
002 その他の固定資産	328,058,524	324,208,014	3,850,510	414 基金	0	4,000,000	△4,000,000
				415 国庫補助金等特別積立金	6,389,394	7,726,993	△1,337,599
				416 その他の積立金	55,124,228	55,160,225	△35,997
				417 次期繰越活動増減差額	208,966,642	200,097,468	8,869,174
				純資産の部合計	274,480,264	266,984,686	7,495,578
資産の部合計	625,040,859	610,034,184	15,006,675	負債及び純資産の部合計	625,040,859	610,034,184	15,006,675

※阿賀野市社会福祉協議会ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。



平成30年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告

阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より平成30年度の地域福祉推進事業費として5,797,539円の助成を受けましたので、その用途についてご報告いたします。

高齢者福祉活動費 3,055,000円

- ふれあい昼食会 296,000円
- 配食サービス事業 2,556,000円
- ふれあい・いきいきサロン推進事業 203,000円



障がい児・者福祉活動費 89,000円

- 障がい者ふれあい交流会 89,000円



“芝ぼうや”
作り

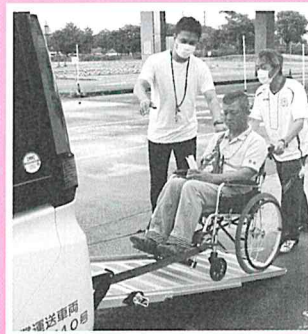
児童・青少年健全育成事業費 85,539円

- ボランティア体験学習支援事業 85,539円



住民全般福祉活動費 2,568,000円

- 社会福祉大会開催事業 335,000円
- ボランティア活動保険加入援助事業 223,000円
- 県民福祉大会研修事業 95,000円
- 社協機関紙発行事業 315,000円
- ボランティア通信発行事業 750,000円
- 行路人旅費支援事業 7,000円
- 子育てサロン推進事業 52,000円
- 地域ささえ愛事業 731,000円
- 介護教室開催事業 60,000円



赤い羽根共同募金 感謝状贈呈式・助成金目録交付式



阿賀野市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金の仕組みやお寄せいただく募金の使いみちを広く知っていただく機会として、去る6月18日に保健福祉センター京和荘において『赤い羽根共同募金感謝状贈呈式・助成金目録交付式』を開催しました。

感謝状の贈呈では共同募金運動推進のために毎年継続して積極的に協力され、その功績が顕著な企業様に対し田中会長(田中清善 阿賀野市長)より感謝状が贈られました。

また、昨年の募金運動期間に皆さまよりお寄せいただいた募金から、社会福祉の向上を目的とする事業への助成として、社会福祉協議会、自治会団体、福祉・ボランティア団体、学校へ助成金目録が交付されたのち、助成を受けた方々を代表し、阿賀野市立京ヶ瀬小学校駒形哲宣校長より謝辞をいただきました。

募金に協力くださる方と助成を受ける方が互いに共同募金について理解を深める機会となりました。

感謝状贈呈企業 (順不同)

安田タクシー株式会社様
株式会社阿賀グローバル様
株式会社阿賀建設様
株式会社暁運輸機工様
株式会社研創様
株式会社加藤工業所様
イオカ電子株式会社様
合資会社田代新聞店様
株式会社綿善様
横山工業株式会社様
五百川組様



写真：左から(株)暁運輸機工様、(株)加藤工業様、田中会長、佐藤副会長、五百川組様、イオカ電子(株)様

平成30年度共同募金による令和元年度事業費助成団体

助成種別	助成先	事業名	助成額
地域助成	社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会	配食サービス事業等15事業	5,477,847円
	緑町子ども太鼓	緑町創作子ども太鼓	48,000円
	阿賀野市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員活動事業	505,000円
	傾聴ボランティアハートピアあがの	心の健康自立支援事業	48,000円
	阿賀野市老人クラブ連合会	高齢者声かけ運動	48,000円
	ほがらかサロン	ほがらかサロン 野外研修事業	16,000円
	阿賀野市立 安田中学校	社会福祉研究普及事業	50,000円
	阿賀野市立 京ヶ瀬中学校	コスモスロード・門松贈呈事業	50,000円
	阿賀野市立 水原中学校	水原中学校 地域貢献活動ボランティア	50,000円
	阿賀野市立 笹神中学校	はぐろの里交流活動	50,000円
	阿賀野市立 安田小学校	地域福祉推進事業	50,000円
	阿賀野市立 京ヶ瀬小学校	福祉体験交流活動	50,000円
	阿賀野市立 水原小学校	白鳥パトロール隊活動事業	50,000円
	阿賀野市立 安野小学校	児童健全育成事業	50,000円
	阿賀野市立 分田小学校	地域クリーンアップ大作戦	40,000円
	阿賀野市立 堀越小学校	社会福祉活動事業	15,000円
	阿賀野市立 笹岡小学校	社会福祉研究普及事業	50,000円
	阿賀野市立 神山小学校	福祉教育交流活動	38,000円



ひとりひとりが福祉のサポーター 令和元年度社協会員(会費)にご協力をお願いします。

社会福祉協議会は、誰もが「お互いさま」と助け合い、住みなれたまちで、安心していつまでも暮らすことのできるまちづくりに向けて活動しています。みなさまからお寄せいただく会費は、“ふだんのくらしをしあわせに”するための地域の福祉活動事業に活用しています。

福祉はなんとなく大切とわかるけど、自分は何をしたらいいのだろうか？と思うことはありませんか？直接、福祉活動を行わなくても、会費を納めていただくことで、さまざまな地域の福祉活動に、間接的に参加することになります。それは、まさに、自分の暮らすまちの福祉活動を支える福祉のサポーターになることです。

ぜひ、社協の活動にご理解とご協力をお願いします。

社協会員(会費)の種類

一般会費員	賛助会員(役員・篤志家)	特別会員(法人事業所・団体・福祉施設)
一世帯 500円	一口 1,000円	一口 3,000円

※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

平成30年度 社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 **4,217,225円**

一般会費	9,006世帯	3,902,225円
賛助会費	123個人	123,000円
特別会費	13団体、29法人	192,000円

会費の使い道として

- いきいきサロン推進事業
高齢者の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいつくりのための活動の支援
- 社会福祉事業功労者表彰式
市内の福祉事業における功労者の表彰
- 地域活動車輛維持費
マイクロバスの車検代・保険料・整備費等
- 社協機関紙「福祉あがの」発行事業
ホームページ管理運営更新料含む
ホームページアドレス <http://www.agano.net/shakyo/>
- 法人運営費
市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

令和元年度 社会福祉事業功労者表彰式

6月18日、保健福祉センター「京和荘」において、社会福祉の各分野で功績のあった方々の表彰式が行われました。
表彰を受けられた皆さま、おめでとうございます

《社会福祉事業功労者表彰》 敬称略、順不同

◎社会福祉協議会・民間社会福祉団体等役職員功労表彰

横山 政昭 福) 阿賀野市社会福祉協議会評議員
渡辺 ヒロミ 福) 阿賀野市社会福祉協議会評議員
長谷川 和江 阿賀野市手をつなぐ育成会理事
鎌田 千里子 阿賀野市手をつなぐ育成会理事

◎社会福祉施設・団体優良活動表彰

ほがらかサロン (代表 手塚 容子)
京ヶ瀬サロン (代表 渡辺 玲子)
分田8運動教室 (代表 佐藤 マス)

◎永年勤続功労表彰

小林 由紀子 福) 阿賀野市社会福祉協議会職員

◎感謝(社会福祉事業援助者)

佐藤 チヨ
さくらの街信用組合 本店



写真：左から、小林由紀子さん、阿賀野市社協会長、阿賀野市長、長谷川和江さん

この機関紙は社会福祉協議会会費
並びに赤い羽根共同募金配分金で
発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669 (阿賀野市役所京ヶ瀬支所内)
社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会
TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204